

# 特定非営利活動法人 ふくおか環境カウンセラー協会

第17号 2019.3.31

## 環境省主催研修を企画・運営しました

# 平成 30 年度環境カウンセラー研修(九州地区)

■期 日: 平成30年12月1日(土)

■場 所: 福岡県教育会館(福岡市東区馬出 4-12-22)

■参加者: 事業・市民各部門の九州地区環境カウンセラー34名

環境省登録環境カウンセラー対象に毎年研修が開催されています。平成30年度は、九州地区について 当ふくおか環境カウンセラー協会が企画・運営にあたりました。

九州管内の環境カウンセラー (事業・市民部門) が一堂に会し、資質・能力の向上を図ることを 目的とします。更なる知識やスキルを学び、課 題を討議し、情報の交換や交流ができる貴重な 場です。研修は、全体研修、事例発表、専門研 修の3部構成としました。



熱心に研修に臨む環境カウンセラーの皆さん(画像処理しています)

#### 1 全体研修

- (1) 環境省九州地方環境事務所環境対策課長補佐 森 寄幸氏による「SDGsの視点を踏まえた持続可能 な地域づくり」の講演は、SDG s (持続可能な開発目標)の視点を踏まえ、地域循環共生の創造など私たち に求められる持続可能なライフスタイルへの転換推進に、環境カウンセラーの役割や活躍が期待さ れることについてのお話でした。
- (2) 北九州市立大学法学部 三宅博之教授による「ESD の視点を取り入れたファシリテーション技術の 向上」の講演では、環境保全・保護や SDG s の達成のためには学習者が自らの価値観を見つめなおし 再構築させる教育、自分の考えに基づき主体的な行動につながる教育、すなわち ESD (持続可能な開 発のための教育) こそが重要なものであること、それにはワークショップが開けるファシリテーシ ョン(技術)が必要なこと等を熱く語られました。自らの得意とする分野の取り組みを、改めて ESD の視点を取り入れつつ、自らがファシリテータになり、ワークショップを開こう!と締めくくられ ました。



環境省九州地方環境事務所 森 寄幸氏



北九州市立大学法学部教授 三宅博之氏

#### 2 事例発表

(1)九州環境カウンセラー協会 中島昭一 副理事長による「九州環境カウンセラー協会の取り組み」では、九州全域の事業部門の環境カウンセラー63名からなる九州環境カウンセラー協会におけるエコアクション等の幅広い活動及び顕彰制度である「環境活動レポート大賞・九州」について紹介されました。







配付資料抜粋

(2) ふくおか環境カウンセラー協会 川島伸治氏による「ESD の視点に立ったプログラムづくり」は、 自らが組織する環境教育団体「青い地球の会ブルーアース」における ESD 実践の紹介でした。この発 表では、ESD の視点でのプログラム内容だけでなく、環境カウンセラー等が環境教育を実施するとき における活動資金やフィールドである学校との対応、継続的な授業実施などについても細かく説明が あり、これからこのような環境教育を展開していく環境カウンセラーには、大変参考になりました。



ふくおか環境カウンセラー協会 川島伸治氏



配付資料抜粋

#### 3 専門研修

- (1) 第1分科会「低炭素社会づくり」 参加者数:13名 地域における地球温暖化対策の現状について話題提供。その後、家庭部門と業務部門の2グループ に分かれ、地域の低炭素社会科を推進するための方策について、環境カウンセラーは何ができるか 討議。各部門とも具体的な活動策が提案されました。
- (2) 第2分科会「循環型社会づくり」 参加者数11名 廃棄物、特に食品ロス問題についてベースとなる法律や考え方の確認及び現状の把握等の話題提供。 九州地区の環境カウンセラーとして、全体目標及び効果的活動についてCBS (カードブレーンストーミング) 法により討議を深めました。事業部門も市民であることから市民部門との縦割りではなく相互に活動することが必要で、九州地域の環境カウンセラーの活動目標は

「チェスト!チャレンジ 食品ロス削減! ゼロに!」と決まりました。

(3) 第3分科会「自然共生型社会づくり」 参加者数:9名 かなたけの里(体験型都市公園)の話題提供、①共働、②憩い、③農体験、④環境保全・環境学習、 ⑤安全・安心、⑥地域連携、⑦地域活性化、の7項目を理念とすることを解説。 環境カウンセラーの活動としては、公民館活動等において地域に溶け込み、あらゆる世代の身近な 人達と共に取り組む。地域の自然共生社会化を推進するための方策は、

「公民館活動等のアクトローカリーを!」と決まりました。



第1分科会報告 辻 勝也氏



第2分科会報告 森本美鈴氏



第3分科会報告 力武和夫氏

#### 4 まとめ

環境カウンセラーには専門知識だけでなくファシリテーション技術が大切であるとわかった。SDG s や ESD は理解できたが、今後の実践が課題である。参画意識が向上した。このワークショップ自体の楽しさがよかった。各メンバーの意見は大変参考になった。等の意見が得られました。

(報告者 森本)



# 環境省登録の基準審査 合格のコツ教えます 前年度指導・申請の方の合格率100%(当協会調べ)



# 「環境カウンセラー登録申請対策講座 開催!」

■日 時: 平成30年 7月 8日(日)13:00~16:00

■会 場:福岡県NPO・ボランティアセンター

環境省登録環境カウンセラーとは、市民活動や事業活動を通じた環境保全に関する取組において、 豊富な経験や専門知識を持つなど一定の要件を備える方を対象に、申請にもとづいて、「書面審査」 「面接審査」を行い、一定の基準を満たした方を「環境カウンセラー」として部門(事業者・市民) ごとに登録します。

平成30年7月8日(日)、5名の受講者を迎え、『環境カウンセラー登録申請対策講座』を開催しました。 一方通行の講義にならないように出席者の反応を見ながら、質問時間をたくさん取りながら進行しました。

●書類審査・面接の心得など合格に不可欠なポイントの説明 簡潔で分かりやすい審査のポイント・面接の心得などを中心に 質疑応答をしました。

個別面接を予定していましたが、受講者の希望により2~3人 のグループ面接に切り替えました。

他の受講者の質問から派生した関連質問により理解が深まり良い意味での「想定外」な効果に驚かされました。

受講者全員の合格をお祈りいたします。



受講者の皆さん (画像処理しています)

「丁寧な指導助言や啓発活動が人を育て、組織の活性化につながる」と信じて、今後も継続的な人材育成事業を 続けます。 (報告者 近藤)

# 活動が評価されました!

# 受賞おめでとうございます!!

# ★「平成 30 年度地域環境保全功労者」 環境大臣表彰 ★ ふくおか環境カウンセラー協会副理事長 近藤 哲司氏

#### 【主な功績】

平成 14 年からいいづか環境市民会議環境教育部会長や飯塚市環境審議会副会長として「飯塚市の環境政策」の推進に寄与した。また、平成 19 年からは福岡県地球温暖化防止活動推進員や福岡県環境県民会議生きもの調査分科会会長として「福岡県の環境政策」の推進に寄与した。



中川環境大臣とのツーショット

地域環境保全功労者として環境大臣より賞状を授与されました。 飯塚市及び福岡県の環境政策への長年の貢献が認められ、受 賞を機に、後進の指導、特に環境教育の良質な指導者の養成 が今後の私の使命の1つに加わりました。 環境教育をはじめ社 会教育の指導者の養成に関心のある方、団体等はご相談くださ い。それぞれの経験を後進に伝えるのが私の使命と思っていま

近藤 哲司

### ★「平成30年度福岡県環境保全功労者』県知事表彰★

ふくおか環境カウンセラー協会 環境教育インストラクター 矢野 郁子氏

#### 【主な功績】

自然観察指導員等の資格を取得・活用し、子どもから 大人までの幅広い世代を対象として、自然教室や 自然研修を実施している。また、「北九州草笛吹こう 会」を主宰し、草笛を通して身近な自然の大切さを 伝えることに尽力している。

さらに、県内の環境カウンセラーの会員として環境 教育活動を企画・実施している。また、「山の季節情 報紙 森の案内人」の編集に関わり、自然の紹介や自 然環境保護の大切さを伝えてきた。最近では、保育 指導者への指導・研修も行っている。



草笛を吹こう自然教室

## ★平成30年度環境カウンセラー全国連合会環境保全功労者賞理事長表彰★ ふくおか環境カウンセラー協会 植木 康太氏

#### 【主な功績】

ふくおか環境カウンセラー協会理事。協会創立に参画。また田川未来塾・ふるさと川づくり交流会を創設。田川市議会環境審議会副会長。田川市を始め県内で環境保全活動に努めた。



### ようこそ新会員

## 平成 30 年度入会の方をご紹介します♪

#### (1) 久志 唯(ひさし ゆい)氏

平成29年度に新しく環境カウンセラーとして登録されました、

平成30年度は夏休み中の学童の子どもたちを対象に、気候変動等に関してお話する機会をいただきました。 地球温暖化による気候変動はすでに起こりつつあり、今後その影響が大きくなることが予想されています。 これからを生きる子どもたちに地球のこと、自分たちの生活のことを考えてもらうきっかけとなるようなお話しを目指しました。

当日は気候変動の現状と将来予測、地球温暖化の原因、自分たちにできることをクイズ形式でお話した後、イラストを見ながらもったいないを探すクイズでさらにエコについて考えてもらいました。そして最後に、自分がこれからがんばるエコを 1 人ひとつ葉の形をした紙に書いてもらい、それを集めてエコの木を作りました。

今回は体験を行う余裕がなく一方的なお話に終始してしまった のが大きな反省点です。次回、機会があれば是非「体験する時間」を設けて、より楽しみながら学べる場、体験などを通じて学 んだことから子どもたち自身が自分で考える場作りができたらと 考えています。



#### (2) 植田 敏史(うえだ としふみ)氏

建設コンサルタント業で、主に、建設工事に伴う環境保全計画、自然再生事業に従事しております。 また、河川護岸や土石流対策として砂防えん提などの計画・設計も行っております。

#### 【活動内容】

平成30年度は、以下に示す活動を行いました。

①中山間地 地域活性化プロジェクト(稲作を通じた環境学習)

本プロジェクトは持続可能な農業経営の一環として、地域の皆さんに稲作を通じて里地里山の魅力を感じてもらうとともに、豊かな体験を通じて探究心や問題解決能力を育んでもらっています。

6 月の田植では、昔ながら、皆さん裸足で田んぼに入り、ロープを張りながら綺麗に稲を植え付けていきました。 10 月はカマを用いて稲を刈り、はさがけをして、籾の水分量を減らしました。稲の刈り取り時には、カヤネズミの巣が見つかり、稲作を通じて動物とのかかわりについても勉強させて頂いております。また、本エリアでは、トジョウの生息も多く、豊岡のコウノトリも発見されたとの報告もありました。12 月は収穫された無農薬のもち米を用いて、餅つき大会を行いました。







#### 特定非営利活動法人ふくおか環境カウンセラー協会 会報(第17号)

②宇部市立東岐波小学校での出前授業(ESD)

本授業では自然観察や体験活動を通して自然への関心を高め、生物どうしのつながりを考えることで、生物多様性の考え方を身に着けるようにしました。授業に先立ち、4年生から6年生を対象とした環境教育実施計画書を作成し、小学校側と協議・調整を行い、ESDで求められる「コミュニケーションを行う力」や「進んで参加する態度」等、4つの力と3つの態度について、授業を通じて養うことを目的としました。授業は事前学習、現地実習、グループ発表の3構成で行いました。

グループ発表の後は、私たちの生活と「植物・自然」との関わりについて、生態系サービスの視点から、食料としての供給サービス、気候や洪水などの調整サービス、リクリエーションや精神的なやすらぎ等の文化的サービスについて考えてもらいました。また、紙コップで作成した生態系ピラミッドを用いて、ある種がいなくなると、どうなるのかを「遊び心」で体験してもらいました。



### 

### 事務局より

今年度から環境省により『環境カウンセラー環境保全活動表彰』が実施されるなど、環境カウンセラーの活動が評価されるようになってきました。団体や会員も、環境大臣、福岡県など様々な機関から表彰を受けています。永年にわたる活動の賜と思います。これまでの協会の活動を振り返る機会があり、今の協会があるのも設立当時の先達のお陰だと、改めて実感しました。

理事長 依田 浩敏 編集担当 森本 美鈴

#### ◆会費納入のお願い

「ふくおか環境カウンセラー協会」は会員の皆様の会費で運営されています。また、全国連合会費 も会員数に応じて支出しています。会費未納の方は至急納入してください。

年会費 3,000 円 振込先:郵便貯金総合通帳「ぱるる」

記号 17410 番号: 13271061 名前: ふくおか環境カウンセラー協会

#### ◆準会員 並びに 賛助会員 募 集

準会員:会費(1口2千円) 賛助会員:会費(1口1万円) 学術会員: 会費なし

発行責任者: 依田 浩敏 編集責任者: 森本美鈴

連絡先:〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉2-3-36

TEL/FAX:092-672-9911 メールアドレス: feca.office@gmail.com